

第1 国内での発生状況

1 日本での初発生

スクミリングガイは、ジャンボタニシなどと称して、昭和56年（1981年）に人為的に外国から導入され、各地で養殖業者が食用販売を目的に大量養殖を始めました。昭和58年当時の養殖専門誌には、次のような広告文が盛んに掲載されていました。「成長が早く繁殖が旺盛で、しかも形が大きく、サザエのように刺身やツボ焼き塩焼きにしても美味しいタニシの新品種が誕生！簡単に養殖が出来るので早くも注文が殺到」（「養殖」昭和58年8月号 鈴木敬二氏）しかし、食味が日本人の嗜好に適さず、多くの場合企業化までは至りませんでした。この間、一部業者の管理の手落ち、経営に失敗した業者の貝の放棄、大雨による養殖池からの散逸、その他種々の経路を通じ、この貝は用水路やクレークに侵入、定着していきました。

そして、これら野生化した貝による被害が、昭和59年（1984年）11月に沖縄県のイグサで初めて確認され、植物防疫法の規定に基づき有害動物に指定されました。農林水産省は、12月に農蚕園芸局長通達を發し、スクミリングガイの被害防止対策を指導しました。昭和60年には、九州各県のイネ、ミズイモ、イグサに被害が広がり、特に熊本、鹿児島両県で被害が多く、発生面積は九州全体で3,643ha、被害面積は約52haに及びました。一方、本貝の養殖は不特定多数の小規模、零細な企業が多く、かつ開廃業が激しいため、実態を把握し、本貝の分散防止を指導することは極めて困難でした。

2 防除対策会議

昭和60年5月に農林水産省内に「ジャンボタニシ防除対策検討会」が、また、10月には被害が発生していた九州地域の各県を中心に15県が召集され、「ラプラタリングガイ（ジャンボタニシ）防除対策検討会」が開催され、防除対策が検討されました。11月には農林水産省から「ラプラタリングガイ（ジャンボタニシ）の被害防止対策について」が發せられました。また、農林水産省では翌61年5月、全国の植物防疫関係者を集め「ラプラタリングガイ防除対策検討会」が開催され、蔓延防止と被害軽減のための防除対策が検討されました。

このように、国と地方自治体が一体となって対策を講じてきましたが、さらに急速に密度が増加し、また、分布が拡大してイネなどの農作物に重大な影響を及ぼす恐れがでてきました。そこで、本貝による被害防止を図るため、農林水産省は昭和61年度にラプラタリングガイ被害防止緊急指導事業補助金9,774千円を助成して、薬剤防除、收拾処分、浅水管理、休閑地の耕起などの総合的な防除技術を早急に確立、定着するため、防除指導圃の設置、防除指導などを実施しました。

その後、本貝は当初ラプラリングガイと名づけられていましたが、昭和61年11月に学名及び和名が決定され、和名はスクミリングガイとされました。この事業は一定の効果をあげましたが、その後も、スクミリングガイの発生地域は西日本地域へと拡大しました。しかし、各種の防除対策が講じられており、被害発生は鎮静化し、現在に至っています。

表1 昭和60年以降の九州地域でのスクミリングガイの発生面積 (h a)

年次	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄
昭60	418	18	46	2131	44	66	722	34
61	664	40	70	3419	56	522	1036	-
62	1098	303	240	6066	64	625	958	48
63	2048	834	404	4267	-	801	1291	70
平元	5025	1282	780	4267	236	1082	405	82
2	5186	1982	967	4500	-	1246	2138	56
3	5876	2920	1161	4100	2196	1773	4122	62

表2 全国のスクミリングガイの被害発生状況

年次	被害発生県数	水田発生県数	野生化県数	被害面積 (h a)
昭60	7	13	7	53
61	13	15	4	176
62	15	13	2	936
63	20	8	2	948
平元	20	7	2	1154
2	23	4	3	3144

注) 主に被害を受けたのはイネ、イグサ、ミズイモ、レンコン
 被害発生：農作物に被害が発生した県数
 水田発生：水田内で発生しているが、農作物の被害は未発生の県数
 野生化：河川、水路のみで発生している県数
 被害面積：被害の認められるほ場の全面積

表3 スクミリングガイの被害状況 (被害面積、ha)

県名	昭和61年	昭和62年	昭和63年	平成元年	平成2年
沖 縄	1	5	6	5	1
鹿児島	43	97	97	126	663
宮 崎	13	27	27	46	54
大 分	1	45	44	12	209
熊 本	91	487	456	238	475
佐 賀	9	36	41	180	265
福 岡	9	120	120	399	473
長 崎	3	6	6	75	738
愛 媛	0.1	0.7	0.7	0.1	11
和歌山	1	2	6	14	26
三 重	0.1	1	1	2	0.1
静 岡	3	70	70	22	26
東 京	0.2	0	0	0	0
高 知		2	2	4	125
香 川		2	6	11	21
山 口		0.5	0.5	4	1
広 島		0.3	0.3	0	0.3
岡 山		1	0.2	0.2	0.1
兵 庫		25	25	6	1
大 阪		0.1	0.1	0.2	0.6
愛 知		10	11	11	45
徳 島				0.1	3
京 都				0.1	0.7
千 葉					5
計	176	936	948	1154	3144